

地域教育推進ネットワーク東京都協議会「地域教育フォーラム2010」レポート

地域・企業と学校が連携し、子供たちに「実社会・実生活に生きる力」を育もう！

平成22年1月30日(土)午後、東京都教職員研修センター 視聴覚ホールにおいて、東京都教育委員会と地域教育推進ネットワーク東京都協議会が主催する『地域教育フォーラム2010』が開催されました。



地域教育推進ネットワーク
東京都協議会会長 松田芳和
(東京都教育庁次長)

地域教育推進ネットワーク東京都協議会は、東京における企業・大学・NPO等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワークづくりを目指し、平成17年8月に設置されました。現在、285団体・個人が会員として協議会に参加しています。

『地域教育フォーラム』は今年で5回目を迎えますが、今回のテーマは「地域・企業と学校が連携し、子供たちに『実社会・実生活に生きる力』を育もう!」でした。「実社会・実生活に生きる力」というのは、平成23年度から学校教育に新たに導入される学習指導要領が掲げた理念です。フォーラムには約400名の教育関係者が集い、最近話題となっているCSR(企業の社会的責任)活動の一環としての教育支援をはじめ、地域社会で展開される様々な教育活動の事例報告や「地域教育が切り拓く子供たちの未来」と題したパネルディスカッションが行なわれました。

第1部 教育支援プログラムの事例紹介

第1部は、地域教育推進ネットワーク東京都協議会が平成21年度に取り組んできた様々な教育支援の取組の中から選ばれた3つの事例が報告されました。

【事例1】『ジョブシャドウ』

キャリア教育の入門プログラムである「ジョブ・シャドウイング」を、都立高校生約120名を対象に実施して3年が経ちました。真剣に働く人の姿に触れることで、高校生たちは自分たちの学ぶ意味を改めて考えるようになりました。

【事例2】 科学好きの子供を育てよう! (株)リバネスの取組

理工系の大学院生修了者たちが集まって起業した(株)リバネス。彼らが目指すのは、「科学好きの子供の育成」を通じた社会貢献です。学校での理科教育支援、放課後子供教室での科学実験教室など、子供たちの目を輝かせる魅力あふれるプログラム事例が紹介されました。



(株)リバネス 藤田大悟 さん

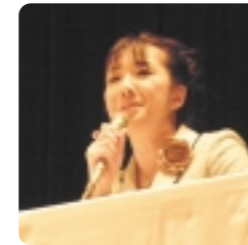
【事例3】 ユニクロCSRチームと都立美原高校の連携

高校生の誰もが知っている「ユニクロ」。その企業から「衣類リサイクルを一緒にやりませんか」と提案を受けた都立美原高校の先生と生徒たち。昨年の5月から9月までの約4ヶ月間で、ユニクロ社員とのワークショップ、高校生自らの提案で始まった地域への広報活動、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)で聞いた、第三世界の人たちの暮らし、そして衣類回収・仕分け作業など美原高校生は、多くの社会体験を積みました。これらの体験を通じて、高校生たちは着実に大人への一歩を踏み出しました。



第2部 パネルディスカッション 『地域教育が切り拓く子供たちの未来』

第2部では、「地域教育が切り拓く子供たちの未来～地域・企業と学校が連携し、子供たちの生きる力を育む～」と題したパネルディスカッションを行いました。



香月よう子 さん

【パネラー】
生重 幸恵 さん (NPOスクールアドバイスネットワーク)
山口 大輔 さん (パナソニック株式会社 コーポレートコミュニケーション本部)
松山 英幸 (東京都教育庁地域教育支援部長)

【コーディネーター】
香月よう子 さん (フリーアナウンサー、きてきて先生プロジェクト代表)

“地域教育”の活性化が、
子供たちの「生きる力」の
育成に必要です!

東京都では、学校・家庭・地域が協働し、社会全体による子供の育成を目指し「地域教育プラットフォーム」構想を掲げています。企業やNPOを含んだ地域教育のネットワークが子供たちを、そして学校を支えていくのです。



地域教育支援部長 松山英幸

教育CSR活動を通じて、
次世代の育成支援を
進めていきます!

本社は「次世代育成支援」と「環境」の観点から教育CSR活動に取り組んでいます。私たち企業は教育関係者や地域の人たちと連携を図りながら、持続可能な社会づくりを目指した取組を今後ますます充実させていきたいと考えます。



山口大輔 さん

教育支援コーディネーターの
ネットワークが、
教育の質を支えていくのです!

学校だけで子供たちの教育を担うのには限界があります。これからは教育責任を地域、企業、NPO等が分担していく時代です。そのためにはコーディネーターの存在が不可欠となっています。教育の質を高めるためのコーディネーターの育成が急務です。



生重幸恵 さん

地域教育のネットワークを都内全域に広げて行きましょう!

地域教育フォーラムに参加した方たちからは、「自分たちが地域で取り組んでいる教育活動の意義を再確認できた」、「地域と学校が連携することの大切さがわかった」などという感想が寄せられました。

みなさんも是非、教育支援活動に参加してみたいはいかがでしょうか?



地域教育推進ネットワーク東京都協議会副会長 山中信義 氏(経済同友会「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」委員長)

- 株式会社リバネス <http://www.leaveanest.com/>
- ユニクロCSRチーム <http://www.uniqlo.com/jp/csr/>
- パナソニック株式会社(企業市民活動レポート) <http://panasonic.co.jp/cca/>
- 社団法人経済同友会(学校と企業・経営者の交流活動) <http://www.doyukai.or.jp/kyoiku/index.html>